【関連聞慧】「先祖供養・子孫繁栄」と「LGBT」の関係について

◆先祖供養がなくなった反動でＬＧＢＴが広がっている日本（ヤイドロン）

日本に関しては、確かに、憲法でなくて条例で広げていこうとしているけど、これは、でも、幸福の科学としては、どっかでちょっと楔を打ち込まないといけない。無差別に広がっていいものではないと思います。

これは、日本の先祖供養っていうか、そういうのがなくなった反動ですから、ある意味でね。危ないと思います。（中略）

だから、先祖供養の信仰、宗教があるということは、「子孫」っていうのが大事になっているということですから。（中略）

そういうのを、今、カルチャーとして大事にしなくなってきてるので、そういうゲイ的なものとの相性がよくなってるんです。

『メタトロン・ヤイドロンの霊言』

◆少数者の権利を護ることは大事だが、同性婚が本格化したら文明は衰退していく

少数者の権利を護ることは大事である一方で、それがメジャーになった場合には、男女がこの地上に生まれたということの意味がなくなり、子孫を残すということの意味がなくなり、文明としては衰退していきます。この流れ自体は決定的です。

『正義の法』

◆男女、相対的に暮らしているなかで魂を磨き合え（天御祖神の教え）

男性だけとか女性だけの世界を創ればシンプルな世界ができるけれども、男女を創ったことにより、この世の生き方は複雑になり、その調整も難しくなる。家庭を維持したり子孫を残したりすることも、困難なことになる。しかし、この複雑な問題集を解きながら、共に手を携えて理想的な国をつくっていくべく努力しなさい」―そういうことを言いました。そういう意味で、「男女、相対的に暮らしているなかで、魂を磨き合え」ということを教えました。

『地球を包む愛』